

KEY TOPIC

第46期テーマは「不易流行」 グループの事業価値を進化

4月3日(月)名古屋市内で中広グループの第46期入社式および方針発表会が行われました。新入社員12人、全国から集まった幹部が一堂に会し、期のはじめに決意を新たにしました。

新しい仲間を全社で歓迎 地域と共に生きる覚悟を

「中広グループへようこそ。大島齊社長のこの一言から幕を開けた第46期入社式。45周年の記念すべき年に12人の新入社員を仲間を迎え入れました。大島社長は「モチベーションは行動すればついてくる。すぐに着手しよう」、「成功している人に共通するのはできるまで諦めないこと」と、緊張の表情を見せる新入社員に言葉を送りました。

「リブル倶楽部」編集室の八田璃久さんが「地域のためにしたいことは、何でも挑戦できる会社です。失敗を恐れずチャレンジしてください」と激励すると、新入社員代表の松原安奈さんが「研修を通して、地域の課題を解決することが、街を盛り上げるのだと知りました。主体的に行動し、『地域みっちゃく生活情報誌』を日本中に広めるため尽力します」と決意を語りました。

続いて行われた方針発表会では、大島社長から「ABCX」に沿った第46期の事業展開をグループ全体で共有。新しい概念をもち、デジタルを活用して「X=トランスフォーム」する考

えを発表しました。

最も早く最も新しいメディアを手に「変わる」ことを恐れず常に進化、進化を続ける組織であろうと熱く語りました。第46期はさらなる高みに向かうため、スローガン「ABCX」、テーマ「不易流行」のもと、全グループが繋がりをもち、地域経済の活性化に努めてまいります。

グループ従業員が思いを共有 新組織でより強く高みをめざす

方針発表会に先だって行われた表彰では、『SORA』『GUJO+』『さきっぺ!』の3編集室が12カ月連続で予算を達成する「グランドスラム」を達成。喜びの声に会場内は拍手で包まれました。

方針発表会の最後には昇格者を代表して廣田真也子部長が決意を表明。「つらいとき、悩んだとき、行動量は自分を裏切りませんでした。自分の理想を超えられるよう、諦めずに、



先輩社員を代表し仕事の楽しさを新しい仲間へ伝える八田さん

強く、たくましく、できる限り美しくやりきります」と述べました。

第46期入社式および方針発表会は全国にライブ中継され、新たな営業戦略と目標を全員で確認できました。

各事業責任者の決意

管理本部長 倉橋 誠一郎



今期経営テーマ「不易流行」の通り、適切かつ効率的な管理業務の執行という「変わらない」目的のため、①新組織体制(4事業部1本部)に応じた業務フローの見直し、および、②社会・経済情勢の変化に応じた社内規則やルールの改定などについて、スピード感をもって取り組みます。

VC事業部長 池戸 武志



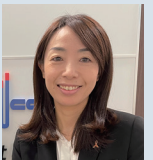
新規VC加盟促進分野に重点を置き、さらに多くのエリアに情報インフラを拡大すべく、まい進してまいります。同時に、VC加盟各社への情報発信、フォローアップ会議などのサポートを強化し、中広グループ・VCの全国の仲間と連携しながら、より一層の販路拡大に取り組みます。

SP事業部長 長澤 晃



多くの企業から寄せられる「インターネット広告、SNSの発信がうまくいかない。どうしたら良いのか」。そんな声に対して、当社は毎月約1,100万部以上を各家庭に配布している情報誌、クーポンアプリ「フリモ」により得られるリソースを軸にクライアントのマーケティングの最適化を実現します。

グループ戦略統括事業部長 加納 沙弥香



5カ年計画の2年目に挑みます。昨年までの3年間、システム化を促進したことで売上や反響データの分析が可能になり、グループ従業員に向け定期的に発信してきました。今期はさらに多角的な解析や媒体の品質向上・事業開発・研修や広報など、7室体制で戦略的な事業運営に寄与します。

FM事業部長 森 照敏



①組織改革、変化②原点回帰、基本再習得③情報誌予算④全誌スタート予算比60%以上⑤自立できる編集室長の育成⑥官公庁の取り組みを全国横展開⑦創刊、復刊⑧地域情報誌の可能性⑨事業部間の融合⑩DX商材、2・3階建て商品の拡充。以上の10の取り組みに挑みます。

株式会社中広メディアソリューションズ 代表取締役社長 益 薫



46期はCMSにとって創業2年目となります。『地域みっちゃく生活情報誌』(ARIFT)の9誌創刊および復刊、また各種別冊18誌の発行を、事業戦略をもとに推進。引き続き強固な組織をつくと共に第47期に繋がる人財の採用・育成、各事業の拡大に挑戦してまいります。

COLUMN

他に良かれかし 人はなぜ学ぶのか

越えなばと思し峰に来てみれば なお行く先は山路なりけり

しょうねんおいやすくがくながたし
少年易老學難成
いっすんのこういも、かろんずべからず
一寸光陰不可輕
いまだあらず ちとうしんそうのゆめ
未覺池塘春草夢
かいぜんこのよう までにしゅうせい
階前梧葉已秋聲

我が家の前には中学校があります。大きなカバンを下げ登校する一年生たちの初々しい姿を見ると、思わず朱熹の漢詩『過成』が浮かびました。

私は喜寿目前の「階前の梧葉 已に秋声」ですが、尊敬する大先輩は傘寿を過ぎてなお意気軒高、経営の第一線で励んでおられます。その方は、季節を問わず出勤は早朝5時、パイプとしていた稲盛和夫氏の著書を30分、その他の本を30分読み込みます。24時間のうち、最低1時間は学びの時間を持つのだそうです。筋トレとスクワット100回、ハタとアプローチの練習をしてから、新聞をめくり当日の日課の整理を始めます。その頃には総務の社員や秘書が出社し、日程の確認と指示を出します。午前9時までは、あらかたの仕事が終わっています。

86歳のご本人曰く「最近物忘れが激しい。新たなアイデアがなかなか出てこないよ。忘れる以上に新たな情報や知識を入れてはいるが、ザルに水を入れるが如くだよ」と苦笑されます。とは申せ、次々に新規事業を決断、事業は隆盛を極めハズレがありません。加えてゴルフの腕前はエージシュート(年齢より少ないスコアでラウンドすること)。かくありたいと仰ぎ見えています。

こんな先輩も「越えなばと思し峰に来てみれば なお行く先は山路なりけり」と語られます。「全身全霊を賭けて頂に辿り着き、そこから周りを眺めたら、どうだい、もっと険しいもっと大きな山が聳えている。もうここでよしとするかなどとは、とても思えない。休む暇などなく禪を締め直して、次の峰に向かう山路に、また一步一步、足を踏み出す。それが人生じゃないのか。人間死んだら、ずっと休めるし寝ていられるのだから、棺桶に入るまでは山に登り続けるんだよ」と。

生まれてから死ぬまでの時間、すなわち人生をどのように過ごすかは、人それぞれの自由です。しかし、どんな生き方をしても時は止まってくれません。歲月人を待たずであります。自分に与えられた時間を生かすも無駄にするも、自分次第なのです。

自分に打ち勝つには早起きから 喉元過ぎても熱さ忘れるな

若い人たちにお聞きしたい。早起きはできていますか。ときおり、朝寝坊が日常化している人から早起きの秘訣はあるかと訊ねられますが、そんなものはありません。目覚めた時に布団を蹴飛ばして、ガバッと起きられるかどうかです。もう少し寝ていたいという欲に打ち勝つ、それだけです。人間の体は自然の一部です。一日のはじまりである清々しい朝の空気を吸えば、頭も体もよく動くようになり意欲が高まります。自然が与えてくれる「朝」という恵みを受けないのは、実にもったいない。学ぶことも行動することも、己を磨くことも、朝寝してはできないのです。



満天星躑躅(どうだんつつじ)

新学期になり、登下校する中学生たちはマスクをしていません。ようやく日常が戻ってきました。3年余のコロナ禍、マスクに手洗い、消毒にうがいが頻繁に行ってきました。それが、どうでしょう。「喉元過ぎれば熱さ忘れる」の通り、手洗いもうがいがいもなくなっていませんか。パンデミックから学んだことが身に付いていないのです。

「喉元過ぎれば熱さ忘れる」とは、過ぎてしまえば痛みや苦しみを忘れてしまうの意味ですが、真意は苦境の時に助けてくれた恩人を時が過ぎると忘れてしまう、これを戒めることにあります。我が社の社是は「飲水不忘掘井人」です。先代から教わった「飲水不忘掘井人」だけは忘れないように、また幾度も学び直すために私は毎朝読誦しています。

我以外皆我師 学ぶは、真似る

祝福の場に伺いますと、寄せ書きにひと言添えて名前をと依頼される時があります。あなたはどんな言葉を書きますか。私は「衆人

皆師」と書くことが多いです。吉川英治著の『宮本武蔵』の一節、「我以外皆我師」によります。自分以外の森羅万象は全て先生だという意味です。

吉川英治は昭和35年、文化勲章の授賞式を控えた朝に「菊の日や もう一度紺がすり着てみたし」と詠みました。「私なんぞ、勲章をもらえるような人間ではない。奮らず、ボロボロの紺がすり着ていた書生に戻って勉強したい」という意味でした。いかにも吉川英治らしい一句です。

人は無垢で生まれ、親をはじめ出会ったすべての人、また自然や環境からさまざまなことを吸収し、学び、生かされ、成長します。しかし、いつの間にか「学ぶ心」を忘れてしまいます。学ぶの語源は「真似る」。辞書には名詞の「まね」の動詞化したものが「まねぶ、まなぶ」で「真似をする、見習う」とあります。

さらに『論語』には、賢を見ては齊しからんことを思い、不賢を見ては内に自らを省みるなりとあります。優れた人に出会ったら善き手本にし、愚かな人に出会ったら我が身を正しなさいといった意味です。学んで思わざれば則ち同じ、思わざれば則ち殆し。学ぶだけではあかん、自分の頭で考えなければ学んだことにはならぬと、自分の思いを巡らすだけで他に学ぶことをしないのも危ない、と述べています。実に蘊蓄深いですが、「論語読みの論語知らず」にならぬよう、行動してこそ学びであると心に刻んでいます。

学ぶとは真似ること。森羅万象すべてが「師」であり、学びに終わりはありません。では人は、なぜ学ぶのか。あなたはどう思いますか。目くじら立てて勉強せよなどと言わなくても、三度の飯を食って生きているだけでも学びじゃないか。早起きして本を読まなかったって結構人生幸せにやっていると答えますか。そうですね。それも人の生き方です。

私の生き方は、どんな環境に置かれようとも、命ある限り自分と自分の周りの人々の幸せのために、仕事に打ち込んでいきたい。広告業を通して「地域社会の元気のために」、全身全霊を尽くすと覚悟しています。そのためには、学ぶ心を一時も怠らず、懸命に真面目に生きることだと思っています。人は、なぜ学ぶのか。私の答えは「他に善かれかし」という生き方のために、学ばなければならないと考えるからです。

2023・早月・満天星躑躅に見惚れたながら、如水こと後藤敏次

10,980,227部

※情報は2023年4月発行号に基づき掲載しています ※VC発行エリアを含む ※世帯到達率は配布部数を4月24日現在の各県が公表している世帯数で割り算し一部イレギュラーな発行に伴い4月に流通していないものを含む ※発行日は月により変動する可能性があります。詳細はお問い合わせください。

北海道			
道内発行媒体数	道内総発行部数		
5誌	867,540部		
SORA vol.98 滝川市・砂川市・赤平市・歌志内市・新十津川町・赤井江町 41,500部 20日発行			
ふりっばー vol.206 札幌市豊平区・清田区・南区・中央区(東) 229,675部 第4火曜日発行			
ふりっばー vol.177 札幌市北区・東区 236,370部 第4火曜日発行			
ふりっばー vol.203 札幌市白石区・厚別区中央区(前成川より東)・江別市大森地区 173,615部 第4火曜日発行			
ふりっばー vol.213 札幌市西区・手稲区中央区(西部) 186,380部 第4火曜日発行			
宮城県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
5誌	579,120部		
んちん vol.110 石巻市・東松島市 59,000部 20日発行			
さきぱい vol.74 大崎市 40,000部 20日発行			
とみぞ vol.97 仙台市泉区 84,600部 20日発行			
ほろい vol.91 名取市・岩沼市 58,830部 20日発行			
ARIFT vol.1714 仙台市泉区・青葉区・若林区・太白区・愛城野区 336,690部 24日発行			
山形県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
2誌	254,000部		
やまがたの街 vol.121 山形市・天童市・上山市・山辺町・中山町 170,000部 25日発行			
なまふる vol.86 米沢市・南陽市・高森町 84,000部 20日発行			
福島県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
2誌	85,300部		
月刊すかと vol.85 須賀川市・楳石町・天栄村 53,300部 25日発行			
月刊こみもと vol.7 白河市・西郷村 32,000部 21日発行			
茨城県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
5誌	338,000部		
ひたち vol.162 日立市 62,000部 25日発行			
にしも vol.119 筑西市・下妻市 44,000部 25日発行			
こがも vol.95 古河市・埴野町 52,000部 25日発行			
Cou vol.219 つくば市・土浦市 130,000部 月末発行			
かすす vol.114 鹿嶋市・神栖市 50,000部 25日発行			
栃木県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
1誌	52,000部		
おりっぷ vol.83 小山市 52,000部 25日発行			
群馬県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
6誌	418,500部		
太田フリモ vol.74 太田市 50,000部 25日発行			

桐生みどりフリモ vol.66 桐生市・みどり市 50,000部 25日発行			
伊勢崎フリモ vol.111 伊勢崎市 63,000部 25日発行			
玉村フリモ vol.99 玉村町 15,500部 25日発行			
前橋フリモ vol.111 【北西版】前橋市・吉岡町 65,000部 【南東版】前橋市 55,000部			
高崎フリモ vol.306 高崎市 120,000部 25日発行			
埼玉県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
9誌	955,870部		
ワッキーズ vol.98 久喜市 52,000部 第4月曜日発行			
とねじ vol.98 羽生市・加須市 56,400部 第4月曜日発行			
NaOZUMA vol.89 熊谷市 62,000部 1日発行			
Seien vol.32 深谷市 44,000部 20日発行			
ARIFT vol.632 所沢市・入間市・狭山市・桶川市・川越市・ふじみ野市 175,000部 第3または第2金曜日発行			
ARIFT vol.1712 志木市・新座市 81,340部 10日発行			
ARIFT vol.1712 戸田市・川口市・蕨市・さいたま市浦和区・南区・緑区 180,570部 10日発行			
ARIFT vol.1711 さいたま市見沼区 116,500部 3日発行			
ARIFT vol.1711 越谷市・春日部市 188,010部 3日発行			
東京都			
都内発行媒体数	都内総発行部数		
2誌	102,330部		
ARIFT vol.1712 練馬区 51,470部 10日発行			
ARIFT vol.1712 足立区 50,860部 10日発行			
神奈川県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
1誌	346,625部		
ARIFT vol.1713 横浜市中区・西区・港北区・神奈川区・中区・鶴見区・中原区・幸区・川崎区・青葉区・緑区・都立区・旭区・保土ヶ谷区 342,905部 17日発行			
新潟県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
3誌	178,000部		
まると下越/ vol.61 新発田市・村上市(一部) 53,500部 30日発行			
まると豊央/ vol.109 三条市・高市 61,500部 25日発行			
まると上越/ vol.91 上越市・妙高市 63,000部 20日発行			
福井県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
1誌	35,428部		
kirāmeki club vol.179 敦賀市・美浜町 35,428部 25日発行			
山梨県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
4誌	174,000部		
ピピル vol.129 笛吹市・山梨市 37,000部 25日発行			

ParuPi vol.228 甲府市・甲斐市 82,000部 25日発行			
たたいま vol.228 南アルプス市 21,000部 25日発行			
なないろ vol.117 韮崎市・北杜市 34,000部 20日発行			
長野県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
1誌	81,000部		
月刊ぶぶざ 諏訪市 81,000部 25日発行			
岐阜県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
12誌	739,530部		
SARUBOBO vol.326 高山市・瑞穂市 56,000部 28日発行			
GUJO vol.173 郡上市 20,000部 20日発行			
maika vol.200 中津川市・恵那市 44,600部 25日発行			
らせる vol.174 土岐市・瑞浪市 36,060部 25日発行			
おりべ vol.228 多治見市 44,970部 25日発行			
Kenisan club vol.335 【かに版】可児市・御嵩町 43,841部 【かも版】【かほ】美濃市・八日町 坂祝町・川辺町・七宗町 白川町・富加町・東白川町 31,239部			
ぎららくらぶ vol.198 関市・美濃市 42,777部 20日発行			
たんとん vol.225 各務原市 59,800部 20日発行			
GIFUTO vol.168 【北年版】岐阜市北部 76,400部 【南年版】岐阜市南部 119,400部			
mintap vol.194 本巣市・瑞穂市 44,993部 20日発行			
はしまる vol.74 羽島市 24,990部 25日発行			
Wao!Club vol.241 【南東版】大垣市・南東区・海津市・養老町 46,652部 【北西版】大垣市北西部・旗本川原・油田町・神戸町・関ヶ原町・垂井町 47,808部			
94,460部 25日発行			
静岡県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
8誌	517,850部		
mydo vol.278 三島市・清水町 70,600部 月末発行			
mydo vol.326 沼津市 63,100部 月末発行			
mydo vol.364 富士市 73,800部 月末発行			
mydo vol.131 富士宮市 35,000部 27日発行			
mydo vol.96 静岡市葵区 79,610部 第3または第4土曜日			
mydo vol.93 静岡市駿河区 76,230部 第3または第4土曜日			
mydo vol.65 静岡市清水区 68,510部 第3または第4土曜日			
ふじえへら vol.58 藤枝市 51,000部 20日発行			

愛知県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
35誌	2,364,154部		
名古屋市 第4木曜日発行			
名古屋市総発行部数 824,565部 市内世帯到達率 70.2%			
【北版】中区・千種区・東区 85,545部			
NAGOYA vol.25 【南版】熱田区・昭和区 98,455部			
184,000部			
NAGOYA vol.153 中村区 58,700部			
NAGOYA vol.145 北区 59,700部			
NAGOYA vol.145 港区 60,450部			
NAGOYA vol.133 名東区 63,000部			
守山フリモ vol.135 68,200部			
緑区フリモ vol.129 83,200部			
HANAMARU PLUS vol.257 豊橋市・豊川市 120,000部 25日発行			
ぶらりん vol.79 豊田市 115,600部 末日発行			
西尾フリモ vol.89 西尾市 41,300部 第3金曜日発行			
アサヒセト vol.130 尾張旭市 64,900部 第4金曜日発行			
ひまわり vol.86 長久手市 39,700部 第4金曜日発行			
Sun-Go vol.73 日進市南部 37,950部 第4金曜日発行			
KANARU vol.66 みよし市 23,100部 第3金曜日発行			
ゆいまろ vol.82 豊明市 26,610部 第3金曜日発行			
Cocon vol.98 刈谷市 60,000部 第3金曜日発行			
ちるる vol.67 知立市 28,700部 第3金曜日発行			
フリモかわら vol.109 碧南市 42,400部 20日発行			
北知みフリモ vol.27 大府市・東海市 65,000部 第4金曜日発行			
安城フリモ vol.26 安城市 40,000部 第3金曜日発行			
岡崎フリモ vol.11 岡崎市 61,500部 第3金曜日発行			
Step vol.230 半田市 74,500部 25日発行			
はる vol.122 春日井市 114,900部 第4金曜日発行			
あろは vol.98 小牧市・豊山町 60,000部 第4金曜日発行			
リトル vol.130 大山市・扶桑町 35,079部 第4金曜日発行			
くれよん vol.122 江南市・扶桑町 60,200部 末日発行			
くれよん vol.104 岩倉市 57,950部 末日発行			
くれよん vol.275 一宮市 207,900部 27日発行			
くれよん vol.70 清須市・あま市 66,900部 末日発行			
くれよん vol.44 大治町・蟹江町 46,400部 28日頃発行			
くれよん vol.54 津島市・愛西市 49,000部 末日発行			
三重県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
9誌	624,049部		
80.6%			
【北年版】桑名市・いなべ市 70,590部 28日発行			
【北年版】四日市市北部 58,663部 朝日町・川越町			
【南年版】四日市市南部 64,990部 菟野町			
123,653部 28日発行			

Bellve vol.201 鈴鹿市・亀山市 84,800部 28日発行			
リーガ vol.141 名張市・伊賀市 55,561部 28日発行			
つっぴす vol.181 津市 104,059部 28日発行			
ひまわり vol.176 松阪市・多気町 73,405部 28日発行			
イトラ vol.151 伊勢市・鳥羽市 64,940部 28日発行			
さみっく vol.119 志摩市 20,700部 25日発行			
からっと vol.119 尾鷲市・紀北町 26,341部 25日発行			
滋賀県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
6誌	458,731部		
74.2%			
botejako vol.192 長浜市・米原市 56,800部 25日発行			
konki vol.217 彦根市・多賀町 68,767部 25日発行			
オウティ vol.147 【近江八幡・竜王版】近江八幡市 35,018部 竜王町 【東近江版】【東近江版】東近江市 39,903部			
74,921部 25日発行			
【北年版】大津市北部・高島市 53,900部			
【南年版】大津市南部 64,860部			
118,760部 25日発行			
Sun-Go vol.73 日進市南部 37,950部 第4金曜日発行			
KANARU vol.66 みよし市 23,100部 第3金曜日発行			
ゆいまろ vol.82 豊明市 26,610部 第3金曜日発行			
Cocon vol.98 刈谷市 60,000部 第3金曜日発行			
ちるる vol.67 知立市 28,700部 第3金曜日発行			
フリモかわら vol.109 碧南市 42,400部 20日発行			
北知みフリモ vol.27 大府市・東海市 65,000部 第4金曜日発行			
安城フリモ vol.26 安城市 40,000部 第3金曜日発行			
岡崎フリモ vol.11 岡崎市 61,500部 第3金曜日発行			
Step vol.230 半田市 74,500部 25日発行			
はる vol.122 春日井市 114,900部 第4金曜日発行			
あろは vol.98 小牧市・豊山町 60,000部 第4金曜日発行			
リトル vol.130 大山市・扶桑町 35,079部 第4金曜日発行			
くれよん vol.122 江南市・扶桑町 60,200部 末日発行			
くれよん vol.104 岩倉市 57,950部 末日発行			
くれよん vol.275 一宮市 207,900部 27日発行			
くれよん vol.70 清須市・あま市 66,900部 末日発行			
くれよん vol.44 大治町・蟹江町 46,400部 28日頃発行			
くれよん vol.54 津島市・愛西市 49,000部 末日発行			
和歌山県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
1誌	40,000部		
まいげふが vol.79 岩出市・紀の川市 40,000部 20日発行			

奈良県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
2誌	178,000部		
かいろ vol.66 橿原市 43,000部 28日発行			
konki vol.618 奈良市・生駒市・平群町・京都府木津川市・精華町 135,000部 第2金曜日発行			
鳥取県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
3誌	163,400部		
69.3%			
つばさ vol.122 鳥取市 64,000部 第4月曜日発行			
くらら vol.86 倉吉市・三朝町 39,200部 第4月曜日発行			
こはく vol.110 米子市・境港市 60,200部 第4月曜日発行			
香川県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
1誌	67,800部		
マルータ vol.91 丸亀市・宇多津町 67,800部 25日発行			
高知県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
1誌	39,330部		
こはく vol.86 南国市 39,330部 25日発行			
福岡県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
3誌	166,500部		
むたふ vol.130 宗像市・福津市 64,500部 20日発行			
おるね vol.102 古賀市・新宮町 38,000部 20日発行			
マイタウン vol.96 福岡市西区 64,000部 20日発行			
佐賀県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
1誌	44,500部		
Toss vol.95 鳥栖市・基山町 44,500部 25日発行			
大分県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
1誌	50,000部		
てくてくぶらさ vol.204 臼杵市・津久見市 50,000部 25日発行			
宮崎県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
1誌	83,100部		
Palms vol.378 宮崎市・高鍋町 83,100部 25日発行			
沖縄県			
県内発行媒体数	県内総発行部数		
1誌	32,000部		
宮古ストーリー vol.38 宮古島市 32,000部 25日発行			

読者の声

「地域みっちゃく生活情報誌」に寄せられた読者からのお便りを紹介します。

店のオープンを「こんきくらぶ」で知ることが多いです。地元の情報収集は、『こんきくらぶ』がNo.1です。(Sさん・50代)

山田くんの表紙やインタビューは彦根ならではの永久保存版ですね。どど〜んと迫力があって良かったです。(Yさん・50代)

実際に自分が利用できる範囲なので、ありがたいです。(Hさん・50代)

季節ものの特集が組まれていて、行きたいスポットがたくさんありました。(Tさん・20代)

家に届いたら欠かさず読んでいます。(Pさん・20代)

掲載レスポンス

「地域みっちゃく生活情報誌」に掲載した広告の反響をご紹介します。

食うーぼん50選に掲載のメロンパン専門店。5日間限定で「全品150円」の割引サービスを実施したところ、QRコードの読み込み数287件、お気に入り登録数202件、使用数40件と、今までで一番の反響を記録しました。

日程限定で特別感で過去一番の反響

3/26オープンのスポーツ教室。3月号で複数誌掲載したところ、120件以上の反響があったため4月号は見開きで掲載。配布期間中に20件ほど見学の問い合わせがありました。前号を超える集客スピードで満足いただいております。

前号を超える反響で集客に成功

HAPPY MEDIA

『ままこっこ』 園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン

【配布先】 県内全域の幼稚園・保育園・こども園
 【設置先】 産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等
 【仕様】 冊子A5版 オールカラー

【発行時期】 年4回(1月・4月・7月・10月)
 【発行部数】 岐阜版/60,000部 千葉版/70,000部 群馬版/60,000部

「講演会インフォ」

ゲスト講師、タレント選びからイベント企画立案、当日の運営までサポートするネットワークサービス

【対応エリア】 全国
 【内容】 講演会・研修会・ウェブセミナー・コンサートの企画運営

【登録講師数】 6,000名
 【年間案件数】 400件以上

「フリモール」

編集室オススメの地域の逸品をご紹介します!

500万部の「地域みっちゃく生活情報誌」で告知をおこなうため、毎月安定した流入が見込めます。編集室のレビューは、第三者目線のコメントも参考になるとユーザーから好評!

クーポンアプリ「フリモ」
 フリーマガジンに掲載しているクーポンがスマホの中に! 切り取らなくてもスワイプで簡単に使える!

34万件突破!!
 ダウンロード数 2023年4月17日現在 342,296件

フリーマガジンと連動して 地元へアピール
 各戸配布するフリーマガジンへクーポンアプリ「フリモ」(またはブラウザ版)に繋がるQRコードを搭載することで、直接、紙には載りきれない店舗情報を近所へ届けます。

ウェブへ繋ぐ! GoogleMAP連動で 現在地からもお店を探せる!
 店舗情報ページには、お店が持っているSNSやホームページへジャンプできるアイコンを表示! タップすればそのままアクセスできます。

また、「初めての投稿なので、もっと細かく相談したい!」や「成功事例について詳しく聞きたい!」など、地域での販促に関するご相談もサイト内「お問い合わせ」よりご連絡ください。

※QRコードは株式会社テンソソフトウェアの登録商標です

デジタルギフト「giftee」

ツール

デジタルギフト提案で景品管理を簡素化

現在、大手ガソリンスタンドで景品受け渡し方法として主流になり始めているデジタルギフト「giftee」。各店舗における景品管理の手間が省けることに加えて、顧客側は対象の商品から自分の好きなものをセレクトできます。顧客と店舗側、双方にとってメリットの大きなシステムです。

この度、当社と長年お付き合いがあるクライアントの依頼で「giftee」の導入提案からフォローおよび告知用ポスター、A4チラシ、スタンプカードの制作を担当しました。さっそく、現在、展開中の「トラック祭り」に採用いただき、各現場で活用されています。それぞれの紙面にはデジタルギフトの説明から利用の流れまでを丁寧に掲載し、利用を促進。販促だけではなくクライアントの課題解決に寄与できました。今後もクライアントが抱える課題に真摯に向き合い、業務を進めていきます。



(名古屋SP部・三宅)

世帯到達率が選定の決め手に

地域みっちゃん生活情報誌

創業56年のカルチャースクールをPR

愛知県内(日進市・名古屋市ほか)に、書道教室を80教室以上、そろばん教室を30教室以上を展開しているカルチャースクール。これまで、毎月、新聞の折込チラシで教室の告知をしてきましたが、新聞非購読者にも情報を届けたいとご相談をいただきました。

新聞の購読者層と比べ、子ども(3歳~小学6年生)がいる家庭にも各戸配布でより届きやすい「地域みっちゃん生活情報誌」のエリアカバー率を評価いただき、ご出稿いただきました。



誌面の内容は教室PRにとどまらず、子どもの将来をイメージして通わせたいと思えるデザインを意識しました。商圏も熟考して、配布エリアに該当する教室一覧を掲載。住所やスケジュールなどの詳細はQRコードへ誘導しました。

各家庭に届ける「地域みっちゃん生活情報誌」だからこそできる、生活圏内の情報の編集、デザインのご提案が可能です。複数の教室を展開されている習い事教室・学習塾のPRもお任せください。

(さんごくらぶ編集室・戸谷)

小学生の思い出作り、そして思い出を呼び起こす

地域みっちゃん生活情報誌

地域に根付いた大会「桜ずもう」を応援！

鳥取県倉吉市で毎年開催される小学生の相撲大会「桜ずもう」の応援企画を実施しました。桜ずもうはネームバリューが高く地域に根付いており、地元住民なら誰でも知っているような大会。県東部など遠方の小学校からも出場があります。

また、鳥取県中部出身の落合関が十両に昇格するなど、「相撲」がアツイタイミングで企画できました。

2月号ではフットサルチーム「ファレリア鳥取」応援企画を実施しましたが、今回は主催である倉吉青年会議所の理事長や昨年優勝者へのインタビュー、過去の写真やイラストを多めに入れて前回より、さらににぎわいのある華やかな誌面を作ることができました。今年で45回目となる歴史ある桜ずもう、過去44回を思えば「自分も出場した」という読者も少なくありません。地元の皆さんに再認識してもらおうきっかけとなりました。7月号では高校野球児を応援する企画も予定しています。さらにパワーアップした誌面作りを続けます。



(くら編集室・山本)

津駅ビル「チャム」開業50周年

地域みっちゃん生活情報誌

50周年を迎えた駅ビルに誘客促進

「チャム」の愛称で知られる津の玄関口、津駅ビルが2023年3月に50周年を迎えました。その記念事業と津市民をつなぐ役割を「つうび〜す」にお任せいただきました。

津駅は三重県庁や多くの企業、さらに歴史ある3つの県立高校の最寄り駅であるため、昔も今も市民だけでなく県内外の多くの人々が利用しています。11月号から「つうび〜す」の情報コーナーで「駅ビルチャム」の50周年を伝え、思い出話や写真の募集をしてきました。市外に住む人にもLINEで思い出を募ったところ、数えきれないほどのコメントが寄せられました。3月号ではそれらのコメントを一部紹介し、駅ビルのなりたちやテナントからのお祝いコメント、記念事業の予定を表紙を含めて合計4ページで特集しました。

誌面で紹介しきれなかったコメントや写真は館内の「想い出エピソード・写真展」で紹介。大きなパネルいっぱい、たくさんのコメントや写真が掲示され、多くの津駅利用者の目に触れたのではないかと思います。



(つうび〜す編集室・菅)

VC TOPICS

地域での認知度を高め、メンバーの活力となる情報誌

毎年4月号に掲載し、2023年4月号でvol.10を迎えた半田市老人クラブ連合会「ハロウス」。誌面掲載のきっかけは別案件での依頼でした。老人クラブ連合会総会資料の打ち合わせの際、地域の皆さんに老人クラブの活動を知ってもらうのに「地域みっちゃん生活情報誌」が最適であることと、活動を応援したいという思いからスタートしました。

広告予算の確保が難しいため、老人会とは別で広告枠を用意。連合会を応援する企業に支えられるページとなりました。

半田老人クラブの皆さんには、自身の活動が掲載されることで誇りをもってもらうことができました。「今年も1年活動を頑張ろう」と前向きな気持ちになっていただけに、そんな特別編集記事となりました。

愛知県「Step」有限会社メディアマガジン



▲2023年4月号掲載誌面

CHUCO CLUB

JLAA 20周年記念総会開催



4月14日ホテル雅叙園東京にて、後藤一俊会長が理事長を務める「一般社団法人日本地域広告会社協会(JLAA)」の20周年記念総会が行われました。2023年度の活動テーマは「たかが広告・されど広告 広告の力で日本を覚醒!」。この度、大島社長が新理事に選任されました。第7回「JLAA地方創生アワード」エントリー事業紹介では、東京SP4課武部長、「Wao! Club」「mintoup」「はしまる」浅田編集室長が、中広代表として発表。広告の未来について語るディスカッションでは、白熱の議論が繰り広げられました。「JLAAの歌」の発表や大抽選会なども行われ、20周年にふさわしく盛況のうちに幕を下ろしました。(東京SP1課・廣田)

中途採用紹介

新しく中広グループの仲間となったメンバーを紹介します。すでにそれぞれの現場で重要な人材として活躍中です。みなさん、温かく見守り応援をお願いします。

なうてい! 編集室 森さん

年齢年りの数々の社会・人生経験を交えながら持ち前の明るさを武器に、地域の皆さんにより愛される誌面づくりを心掛けて、貢献できるようがんばります



名古屋SP1課 鳥丸さん

前職ではデザインに携っていたのですが提案からできる仕事がしたいと、入社しました。前職での経験を生かし、最適な提案ができるよう努めます。



第6回「大営業祭」成績上位者発表

2023年1月~3月の3カ月にわたり、中広グループ全体で情報誌の情報量向上を目的に第6回「大営業祭」を開催しました。最後まで接戦を見せた今回の結果。第7回も盛り上がっています。

アタッカー部門 attacker

1位 CMS 埼玉支局編集室 後藤さん

掲載を決めてくださったクライアント、サポートしてくださった編集室の皆さんに感謝申し上げます。今回の結果に満足せず新規の連載に注力し、契約いただいたクライアントと、できる限り長いお付き合いができるようフォローしていきます。今後はCMSのメンバーが一人でも多く入賞できるよう全体を鼓舞し、一丸で頑張っていきます。



セッター部門 setter

1位 らせるくらぶ編集室 西山さん

今回は、友人や同級生・知り合いからの掲載依頼や新店情報などからトス上げをし、アタッカーがしっかりと決めてくれたおかげで、セッター部門の1位を取ることができました。今後は「アフターコロナ」の、人材確保や飲食店の新たな戦略、読者に喜ばれる情報など、地域の役に立つトス上げをしていきます。



QRバトル部門 QRbattle



北知多フリモ編集室 松原さん



新規オープンの子ビエ料理店を巻頭特集で掲載。SDGsや獣害対策への取り組みをしていることに着目し、店の立ち上げに至るまでのストーリーを取り上げました。料理の写真を大きく掲載し、読者の興味・関心を惹くことに成功。店舗からは発行後すぐに予約が埋まったと報告いただきました。今後も喜ばれる情報発信を続けていきます。

(グループ戦略統括事業部・加納)

部署だより NO.112

グループ戦略統括事業部 データ戦略統括室



▲データ戦略統括室スタッフ

データ戦略統括室は、第46期に新設されたグループ戦略統括事業部にある7つの室の一つです。媒体発行を通して得た販売や反響に関わる各種データを解析し、それをもとに市場動向の把握や店舗経営に役立つ情報全般を発信します。第46期のスローガン「ABCX」には、データ活用を軸とした自社媒体強化、業務効率化、生産性の向上が掲げられていますが、データ戦略統括室はまさにそのスローガンの実現に深く関わる部署です。データ戦略統括室のメンバーは、これまでC-Brainの機能開発・データ分析を行ってきた人員のほか、クーポンアプリ「フリモ」に関わる機能開発やアクセス解析、1万人に及ぶ読者アンケートの運営、年間レスポンスアワード提供の実績がある人員など、分析・解析関連において高い専門性と経験をもつ顔ぶれとなりました。グループ全体から得られる膨大なデータから新たな戦略を見出すべく、事業部の他室とも連携し、第46期の事業推進を支えてまいります。

(データ戦略統括室・松野)

編集後記

自社ウェブサイトのリニューアル、公開しました。今回のリニューアルでは、中広のさまざまなTOPICSを随時発信できるコーナーや、サステナビリティについての考え方を発信するページを新設。また、「地域みっちゃん生活情報誌」に関するページも見積サイトと紐づける方法で、よりユーザビリティを高められるよう工夫しています。今年、45周年を迎えた中広。これからステークホルダーはもちろん、読者や当社と取引を検討いただくすべての方へ届くサイトとして育てていきます。さて、各部署のKPIが出そろい、業務が本始動しています。それぞれが目標を達成させ、中広がフリーマガジン業界のみならず、広告業界全体で地方経済活性化のプロとしての名をあげられるよう進んでまいります。

QRコード



▲新HPはこちら

(広報・PR室 岡本)



第46期中広グループ新入社員研修 地域を愛し、地域に愛されるアドマンを目指して

今春、新入社員12人が中広グループの仲間に加わりました。新入社員一同、地域のプロ・広告のプロとして貢献できるよう、日々まい進いたします。ぜひ、厳しくも温かいご指導をお願いします。

1週間の研修と入社式を終え 最初の一歩を踏み出しました

桜が満開となった3月27日～4月4日、中広グループ新入社員研修を実施しました。初日は緊張していた新入社員たちが、最終日には期待と不安を意気込みに変えて、自分の目標を笑顔で発表するなど、たくましく輝いていました。

研修の目標は、①マインドセット(社会人への意識変革)②企業・職場・仕事の理解を深める③基本的なビジネスマナー・ビジネススキルの習得④同期との繋がり、社内のコミュニケーション⑤実践的な営業・業務の準備と目標設定です。

初日は社会人として相応しいビジネスマナーや文書、職場ルール、チームに貢献する仕事の進め方を講義しました。チームワークでは、他己紹介や報道相クイズ、企画立案などに挑戦し、同期と楽しい時間を過ごしました。

後藤一俊会長からは、地域と共に歩んできた「地域みっちゃく生活情報誌」の功績を聞き、企業理念である「広告業を通して地域社会への貢献」の意味を学び、倉橋誠一郎取締役のキャリア形成の講義では、自分らしい働き方を考え、人生の新たなスタートを切る事ができました。

人間味のある先輩社員が 仕事の醍醐味を伝授

社内講師による講義では、地域課題に取り組んだ事例や体験談をおもしろおかしく紹介。中広の特異性を生かした営業や、個性やアイデアを生かした提案営業の手法を聞きました。2年目の社員も講師として「1年間で成長したこと」をテーマに発表。入社が近い先輩の声に感化され、1年後の成長が楽しみになりました。諸先輩の温かい激励を受け、新入社員からは「自分もワクワクする仕事に挑戦したい」と決意する声がありました。

営業研修では、行動目標など厳しい内容も伝えました。営業職は、相手に関心をもつこと、相手を主役にして話を聞くこと、何よりもコミュニケーションと思いがりが大切。だからこそ、上機嫌で仕事を楽しむことを忘れないでほしいです。

そのほかにも、制作・編集・規定の講義では、広告ルールを守り信頼される原稿づくりをすること。DX化を推進するシステムは、仕事の効率化や可視化をするため、積極的に活用していくことなど、たくさんの学びがありました。

最終日には、配属先の教育担当者オンラインで繋がり、OJT研修を行いました。1年の数字・行動指標を共有し、OJTの目標を明確にしました。今後も人財開発室では新入社員の成長をサポートしていきます。

まだまだ未熟な新入社員ですが、地域に貢献できるアドマンとして成長してくれることを期待しています。どうぞ、よろしくお願いたします。

会社概要 商号 株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.)
東証・名証 証券コード【2139】

創業 1978年
資本金 4億4,300万円
従業員 453名(2023年4月末現在) グループ全体 569名

事業内容 フリーマガジン事業 イベント・セミナー事業
セールスプロモーション事業 通信販売事業
クロスメディア事業 VC事業(ボランティア・チェーン)

理念 広告業を通して「地域社会への貢献」 (地方創生に!)

社是 人が命・人が宝・人が財産 (社員が輝く組織に!)

社訓 機会損失の排除 (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)

社訓 飲水不忘掘井人 (感謝の心で!)

グループ会社 株式会社中広メディアソリューションズ https://chuco-ms.co.jp
株式会社ケイ・クリエイティブ http://www.k-create.co.jp
株式会社ケイビーエス http://www.post-kps.co.jp



第46期 基本方針

スローガン ABCX テーマ 不易流行

オフィシャル運営サイト ●中広企業サイト ●中広採用サイト ●フリモ(WEB) ●講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他 ●フリモール ●フリモールブログ ●販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見稿サイト) ●ハッピーメディア®児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMN)

公式アカウント ●Facebook ●YouTube ●Instagram ●Twitter リンク集はこちら

加盟団体 ●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会

次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定企業です

女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業です

2017年取得 ☆

2016年取得 ☆

	会社のあゆみ	HAPPY MEDIAのあゆみ
1978	設立 後藤数次社長就任	
1983	求人情報紙事業開始	
1986	後藤一俊社長就任	
1991	従業員数70人	
1993	イベント・セミナー事業開始	
1994		●岐阜県 / 「かにさんくらぶ」創刊
1997		●滋賀県進出
1998	従業員数150人 通信販売事業開始	
2006		●三重県進出
2007	名古屋証券取引所セントレックス上場 従業員数200人	●50万部達成
2008		●福井県進出 講演会インフォ公式サイト開始 ●100万部達成
2009		●愛知県進出
2010		●全国展開開始(VC) ●福岡県・山梨県・兵庫県・和歌山県進出 ●200万部達成
2012	名古屋証券取引所第二部上場 VC事業開始	●山形県・茨城県・鳥取県進出 ●30万部達成
2013		●栃木県・宮城県・新潟県・群馬県・大阪府進出 ●岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」掲載開始
2014	東京証券取引所第二部上場	●北海道・埼玉県・佐賀県・香川県進出 ●500万部達成
2015	東証一部・名証一部に市場変更	●高知県・福島県・長野県・京都府進出 「ままここと」創刊
2016		●東京都・愛媛県・静岡県・千葉県・宮崎県・奈良県進出
2017	従業員数500人	●三重県「三重県からのお知らせ」掲載開始 ●大分県進出
2018		●沖縄県進出
2019	中島永次社長就任 株式会社アド通信社西部本社設立	
2020	岐阜市・笠松町とシティ・タウンプロモーションの推進に関する連携協定締結	●クーポンアプリ「フリモ」開始 ●1,000万部達成
2021	多治見市とシティプロモーションの推進に関する連携協定締結	●お取り寄せサイト「フリモール」開始 ●神奈川県進出
2022	大島育社長就任 株式会社中広メディアソリューションズ設立 株式会社ケイ・クリエイティブ/株式会社ケイビーエス グループ化	

※従業員数はグループ会社含む ●地域みっちゃく生活情報誌®

営業拠点

■ 本社
岐阜本社 岐阜市東興町27
名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F

■ FM・SP事業部
《北海道》SORA編集部 旭川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169
旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158
《宮城県》とみずい編集部 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809
なうてい!編集部 名取市手倉田字開跡532-1 1F西 TEL.022-797-8541
さきっぺ!編集部 大崎市古川旭5-3-2 2F TEL.0229-25-8792
《群馬県》高崎フリモ 前橋フリモ編集部 高崎市新保町139-1 2F TEL.0270-61-6117
高崎市新保町139-1 2F [前橋北西版]TEL.027-353-8714 [前橋南東版]TEL.027-353-8713
《茨城県》山手山字 尾張旭市東本郷大字原町3-53 2F [守山アリモ]TEL.0561-42-5799 [アサヒトセ]TEL.0561-42-6981 [ひまわりくらぶ]TEL.0561-42-6971
《静岡県》おひまわりくらぶ 伊勢崎フリモ 太田フリモ編集部 伊勢崎市茂呂町2-3522-6 TEL.0270-61-6117
横生みどりフリモ編集部 桐生市本町6-27-1 3F TEL.0277-47-7635
《埼玉県》クッキーズ・とねじん編集部 久喜市久喜中央2-8-23 3F TEL.0480-38-6881
《東京都》東京SP部 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940

《福井県》きらめきくらぶ編集部 敦賀市野神40-277-2 1F TEL.0770-24-2622
《岐阜県》GIFUTO編集部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512
SARUBOBO編集部 高山市下岡本町2967-2 TEL.0577-34-5579
Wao!Club・mintoup はしまる編集部 大垣市加賀野4-1-13 [Wao!]TEL.0584-75-1960 [mintoup]TEL.0584-77-4088 [はしまる]TEL.0584-71-6226
GUJOプラス編集部 岐阜市八幡町小野91-1 TEL.0575-67-0655
たんとんくらぶ編集部 各務原市那加栄町14-1 TEL.058-380-6066
きらくらぶ編集部 関市山王通1-6-3 TEL.0575-24-4334
かにさんくらぶ編集部 可児市今渡字町1595-190 TEL.0574-25-7009
おひまわりくらぶ編集部 多治見市太平町4-38 TEL.0572-21-2626
らせるくらぶ編集部 土岐市東西山町1-4 3F TEL.0572-55-2033
maika club編集部 中瀬川市津川字上金1231-1 TEL.0573-62-2522
官公庁営業部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511
岐阜SP部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511

ES部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-248-5611
EC部 大垣市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745

《愛知県》NAGOYA FURIMO 各編集部 [中村・中川・港区版] 名古屋市中川区柳森町107 2F TEL.052-355-6111
[中央・西区・北区・名東・天白・南区版] 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-433-1602
緑区フリモ・北知多フリモ編集部 名古屋緑区六田1-150 2F TEL.052-829-0270
守山フリモ アサヒトセ・ひまわりくらぶ編集部 尾張旭市東本郷大字原町3-53 2F [守山アリモ]TEL.0561-42-5799 [アサヒトセ]TEL.0561-42-6981 [ひまわりくらぶ]TEL.0561-42-6971
ゆいまるくらぶ・さんごくらぶ かなうくらぶ編集部 愛知県東郷町北山台4-1-6 [ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850 [さんごくらぶ]TEL.0561-42-4885 [かなうくらぶ]TEL.0561-42-4885
Cocon club・ちるくらぶ 安城フリモ編集部 知多郡東浦町大字穂川字下汐田17-1 [Cocon club・ちるくらぶ] TEL.0562-85-1077 [安城フリモ] TEL.0562-85-1078
リプル倶楽部編集部 犬山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111
岡崎フリモ・西尾フリモ編集部 岡崎市明大寺町字寺東9-1 5F TEL.0564-83-7121

名古屋SP部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139

湖南フリモ編集部 岐阜市手原5-6-19 TEL.077-596-3335

《三重県》ぼろんくらぶ編集部 桑名市殿町10 TEL.0594-25-9988
Bellve club編集部 鈴鹿市神戶1-10-10 TEL.059-373-4400
よっかいちai編集部 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562
つっぴーず編集部 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666
リー・グラブ編集部 名張市鴻之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156
ふぁみんぐくらぶ編集部 松阪市東町596 3号棟 1-A TEL.0598-31-3623
イセクラブ編集部 伊勢市岩洲3-6-5 2F TEL.0596-63-8282
からつと倶楽部編集部 尾鷲市坂場西町2-34 2F TEL.0597-37-4100
さみっくらぶ編集部 志摩市阿児町鶴方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201

《鳥取県》つばさ編集部 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0857-30-6446
くらくらぶ編集部 倉吉市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510
こはくらぶ編集部 米子市西福原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400

《福岡県》マイタウン西區版編集部 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250
三重SP部 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562

《滋賀県》ぼてじゃこ倶楽部編集部 長浜市宮司町1161-7 2F TEL.0749-68-2577
こんざくらぶ編集部 彦根市長曾根町9-22 1F TEL.0749-26-0555
オウテッククラブ・甲斐フリモ編集部 近江八幡市桜宮町289 3F TEL.0748-36-1148

《奈良県》かしらくらぶ編集部 橿原市基本町260-1 1F TEL.0744-48-0606
《和歌山県》まいいぬが編集部 岩出市高瀬84-2 2F TEL.0736-67-7630

《VC事業部》岐阜市東興町27 4F TEL.058-214-3325

《グループ戦略統括事業部》名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-562-2139

《管理本部》**経理部・総務人事部** 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 [購買流通課]TEL.058-246-0285

《グループ会社》**株式会社中広メディアソリューションズ**
横浜支局 横浜市神戸1-10-10 TEL.045-225-9267
埼玉支局 さいたま市南区南浦和2-39-16 3F TEL.048-767-8238
仙台支局 仙台市若林区新寺1-2-26 5F TEL.022-792-8101

株式会社ケイ・クリエイティブ
本社 一宮市木曾川町里小牧寺東125 TEL.0586-88-0608
東尾張支社 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8331
西尾張支社 あま市篠田三田畑19-1 TEL.052-485-6900

株式会社ケイビーエス
岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8336

新卒コメント

SP事業部 名古屋SP部 名古屋SP2課 鳥本さん
出身校 南山大学
ラクソス部で憧れの先輩の背中を真っ直ぐに追いかけたように、常に150%誠実に・素直に仕事に取り組み、尊敬する先輩方ようになります!

SP事業部 岐阜SP部 岐阜SP1課 森さん
出身校 福山女子学園大学
「話術で何でも聞きだし、提案の幅で頼られる人」。学生時代ミシュランの天婦羅店であらゆる人と関わってきた経験と、部活動で鍛えてきたガッツで頑張ります!

FM事業部 名古屋SP2部 名古屋AP課 松原さん
出身校 愛知淑徳大学
「常に昨日の自分を超越する」。毎日覚えることがたくさんありますが、持ち前の粘り強さを生かし、日々努力していきます。FM・SPともに売れる人材を目指します!

FM事業部 名古屋フリモ 港区版 福家さん
出身校 愛知淑徳大学
多趣味で関心ごとを深く追及する性格を生かして、地域やお客様の課題の一つひとつ丁寧に解決し、新規的で魅力的な誌面を作れるよう頑張ります。

FM事業部 びわこ編集部 新川さん
出身校 関西学院大学
コーヒー豆をお客様に提案し、喜んでもらったカフェでのアルバイト経験から、豊富な知識を身につけて多くのお客様と素敵な関係を築けるよう頑張ります。

FM事業部 たんとんくらぶ編集部 相宮さん
出身校 大垣女子短期大学
まだまだ自分のことで精一杯になっていますが、関わった方に愛され頼ってもらえるよう頑張ります。未知のことを怖がらず、楽しめるような心の余裕をもちます。

FM事業部 Cocon club編集部 榎さん
出身校 大阪芸術大学
慣れないことが多く大変ですが、「Cocon club」編集室の皆さんの力になれるよう、日々、研鑽を積んでまいります。よろしくお願いたします。

CMS 横浜支局 阿部さん
出身校 東京富士大学
私は、仕事に誇りをもち、バリバリ働くキャリアウーマンになりたいです。少しでも地域の役に立てればよいなと思っています。

CMS 仙台支局 菊地さん
出身校 東北福祉大学
大学で培った悩みに寄り添う傾聴力を強めて、顧客に寄り添い一緒に課題解決をしていく「伴走型スタイル」ができる営業を目指します!

一宮版くれよん 三宅さん
出身校 至学館大学
地元の人に知られていない情報を見つけ発信したいという思いで入社しました。慣れないことばかりですが、毎日、目標を達成し続け成長していきます。

一宮版くれよん 野村さん
出身校 名城大学
地域の人から愛される情報誌を制作すること、誠実かつ親身な姿勢でお客様と向き合いニーズに沿った提案をすることを目標に、笑顔忘れず頑張ります!

江南版くれよん 江間さん
出身校 専門学校名古屋スクール・オブ・ビジネス
私の人生は毎日笑顔です!一度きりの人生だからこそ、楽しく笑顔で生きたいです!この気持ちで情報誌を通してたくさんの人に届けたいです! Let's smile!